

# 究極の迷子札

最近、Mailで下のような質問を頂きました。皆さんも同じような疑問をお持ちだろうと思い、その返事に少し手を加えて見ました。

Q (質問)：迷子札をつけていますがとれてしまった時のことが心配です。迷子になった時、マイクロチップが役立つと聞きましたが、いったいどのようなものですか？ また犬の健康に問題はないのでしょうか？

A (回答)：皆さんはどんな工夫をなさっていますか？ ARKでは、迷子問題をとて大切な問題として捉え"名前と電話番号を刺繍した首輪 (布製¥2,500：税、送料込み)"をオーダーメイドでお世話しています。視認性は抜群、遠くからも見え易く、とても有用なのですが、質問の方のご心配のように取れてしまった時のことを考えると、大変心配です。そうなるこれからご紹介するマイクロチップは一度皮下に注射のような器具で挿入すると、しかし、まだまだ一般に普及するところまでは行ってません。しかし、ARKでは何らかの理由で病院に行き麻酔注射をした時 (主に不妊手術、歯石除去など) に、必ずマイクロチップを入れて

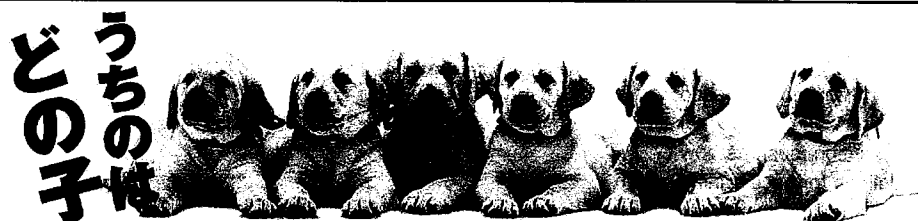
います。麻酔した時でなくとも、刺入時の痛みは注射の時と変わりませんが、他の場合で病院に行く時は何らかの病気で体調が悪い事が多い為ほとんどパスしています。(しかし、海外へ犬や猫を送るときは必ず入れています。)

マイクロチップは直径2.0mm長さ11.0mmのカプセル (お薬のカプセルと同じ) の形をしていて謂わば電子身分証明書と言った働きを持っています。外側は生き物に影響を与えないプラスチックの一種とガラスで出来ています。これを背中 of 首の部分の皮下 (文字通り皮の下、皮と筋肉の間) に注射器のような道具を使って埋め込みます。(大抵は直ぐ皮が元通りになるのでピアスの穴をあける時より安全ではないでしょうか！) チップは一つ一つそのチップだけの万国共通の番号を持っていますので億単位で使っても他のものとは確実に区別できます。そして余程の事 (外科手術などで知らずにその部分を切取ってします等) がない限り永久に有効です。他のものと見分けをしたい時はマイクロチップ・リーダーという機械で簡単に読み取れます。この機械は保健所をはじめ動物を管理する場所や動物病院等に備えてありますのですぐ確認

できます。(しかし事前に確認して下さい。) ご心配の健康に対する影響はほとんどありません (現在のところはゼロ)、あの熱帯魚のアロアナなどはお腹にチップを入れないと輸入や輸出が出来ません。そして欧米の国を始め人や動物の健康管理に熱心な国ではこのチップなしでは入国できないほど取り入れられています。さらに詳しい情報をお知りになりたい方は輸入メーカーの一つであり、いつもARKの動物のためにフィラリア予防薬を始め色々なサポートを頂いている大日本製薬さんのほうへお聞きください。広告記事にサイズや形、電話番号が載っていますので、今回は広告と言う事ではなく資料として載せておきます。なお一番気になる費用は技術料も含め¥3,500~4,500位です。(動物の診療費は公正取引委員会の指導で値段を申し合わせてはいけな事になっていますので、他の診療もそうですが定価を決められません。従ってどの診療についても病院により高い安いがあります。) チップを入れる時は予めTELにて確かめてからおかけ下さい。

東田獣医科 獣医師 東田和弘

次号に続く



うちの犬は  
どの子?

ライフチップ®なら確実に識別します。

ペットは立派な社会の一員。愛するペットのためにも「身元をはっきりさせてあげたい」と思われたことはありませんか？ ライフチップ®はペットのために開発された21世紀のIDカード。登録されたID番号をリーダーで読み取れば、身元確認が

行えます。しかも、たった1回のチップング (埋め込み) でペットの一生をサポート。チップング時の痛みもほとんどなく、動物愛護精神の高い先進国で広く採用されています。詳しくは動物病院にご相談下さい。

大きさは、  
わずか直径2ミリ、  
長さ11ミリ。



固体識別電子IDチップ  
LIFECHIP ライフチップ®

輸入販売元/大日本製薬株式会社  
大阪市中央区道徳町2-6-8

提携/デジタル エンジェル社 (米国)  
(旧) デストロン・フェアリング社

お問い合わせ・資料のご請求は TEL.06-6203-5318

## Microchips - the Ultimate Name Tags

We recently received the following inquiry by e-mail. Since many of our readers probably have similar questions, we've fleshed out the answer we sent back and printed it here for your information.

Q: My dog has a name tag with our phone number on his collar, but I worry about it coming off. I've heard that microchips are useful for finding your dog if he gets lost, but am not sure what exactly these are. Could you explain? Also, will it have no adverse effect on my dog's health?

A: Pets straying off and getting lost is an important issue to us at ARK, and we provide order-made fiber-woven collars embroidered with the dog's name and phone number for I2,500 (including tax and postage). These collars, which are available in a wide range of colors, are highly visible even from a distance and very effective, but there is the drawback mentioned in our correspondent's question: They can occasionally come off. In that regard, microchips, which are

implanted under your dog's skin, are more reliable for making sure your dog will safely come home if he gets lost. For this reason, although microchips are still far from widespread in use, at ARK we always implant microchips in our dogs when the opportunity arises, i.e. when we take a dog to the vet for neutering, plaque removal or other procedures involving general(?) anesthesia. Microchips can also be implanted without anesthesia, as the pain involved is minimal (about the same as an ordinary injection), but if the animal is being brought to the vet for some other reason it is usually in a weakened condition, and in this case we give the microchip a pass. (However, for dogs and cats going overseas we always implant a microchip before their departure.)

A microchip is a capsule-shaped "electronic name tag" measuring 2.0mm in diameter and 11.0mm in length. Its exterior is made of plastic and glass, which have no physical effect on the animal. It is implanted subcutaneously (between the skin and muscle tissue) on the back of the animal's neck, using a syringe-like